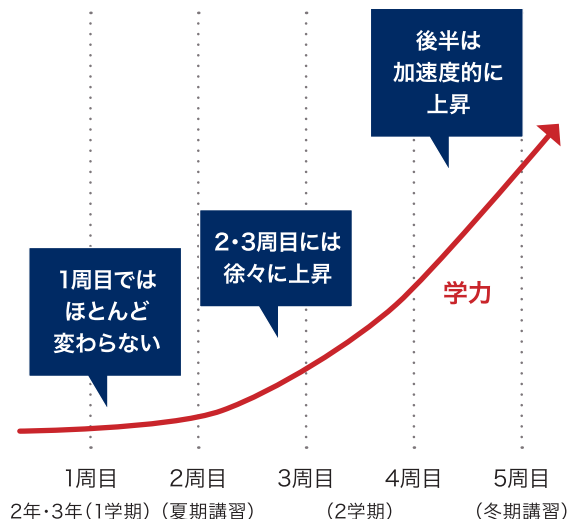


先取り学習

📖 豊富な授業数を利用した先取り学習を実践!



「繰り返し」と「学力」の関係



WHAT?

「先取り学習」と言っても猛スピードで学習内容を進めていったり、高校1年生からいきなり大学入試の過去問レベルの難しい問題に取り組んだりするわけではありません。

高校1年生、高校2年生ともにそのときにやるべき勉強があります。高校1年生から高校2年生は高校学習内容の徹底と入試基礎問題までの学力を定着させることです。通常授業と長期休暇講習を使い、「先取り学習」で終わらせた範囲を徹底して反復することで、高校3年生になったときに大学の入試過去問題集などの発展問題に取り組むことができますようにします。

WHY?

通常の公立高校のカリキュラムでは3年生の12月に3年間の課程を修了します。しかし、それでは大学入試本番には間に合いません。右上図のように繰り返し復習を行わなければ、学力が急速に伸びる前に大学入試にあたってしまいますからです。入試日程から逆算してみます。難関私立大入試は2月上旬から下旬、国公立大学2次試験は2月末です。1月に大学入試共通テストがあるので11月・12月は大学入試共通テストの対策に学習時間の多くを費やさなければなりません。また、大学入試共通テスト終了から国公立大学2次試験までは1ヶ月しかありません。つまりこの期間は「今までの学習を完成させる期間」であり、「実力養成期間」ではありません。したがって、国公立大2次試験や私立大個別試験に対応できる実力は大学入試共通テスト対策が始まる11月までにつけておく必要があります。本校では高校3年生までの学習内容を早めに終わらせ、繰り返し演習や過去問対策を行います。

HOW?

本校では通常の授業数に加えて「夏期・冬期・春期講習」を授業の一環として設け、豊富な授業時間数を「講習」で確保しているため、じっくり無理なく「先取り学習」ができます。「先取り学習」は下の図のように特選コースは高校3年生5月までに、特進コースは高校3年生7月までに高校3年間の学習内容を終了させます。さらに高校1年生から高校2年生までの基礎に抜けがないように、高校3年生でも繰り返し反復します。この部分を勘違いして、難関大学に合格するためには「難しい問題集」をどんどん解かなければならないと思ってしまう人が多いのですが、基礎に抜けやあやふやな部分があると、その勉強が全くの無駄になってしまいます。したがって本校では、既習範囲を繰り返し反復することで基礎の抜けを防ぎ、スムーズに大学入試問題演習に移行できるようにしています。

